

科目名	管理会計論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	Management Accounting	開講年次	□ 1年 ■ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	■ 前期 □ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	すずき ひとし	実務家教員担当科目	○	修得単位	2 単位
担当者名	鈴木 寿	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門としての日商簿記検定1級に準拠し、大学等で専門に学ぶ者に期待するレベルである極めて高度な工業簿記・原価計算を修得する。				
到達目標	管理会計情報を利用し戦略の実行、経営資源の最適利用などの支援ができるようになります。				
授業概要	今日の企業は持続的競争優位を確保するため、絶えず競争的な価格と品質をもった新製品を開発しなければなりません。それには管理会計的思考が必要となります。本講義では日商簿記1級検定で出題される管理会計の領域を、検定に準拠した形で学習します。特に利益計画、業績評価、意思決定などの数値計算問題を具体的に解説しながら進めていきます。				
授業計画					
第1回	日商1級工業簿記・原価計算で学ぶこと				
第2回	経営管理のための会計情報				
第3回	直接原価計算				
第4回	直接標準原価計算				
第5回	企業予算の編成				
第6回	原価・営業量・利益関係の分析				
第7回	最適セールス・ミックスの決定				
第8回	事業部の業績測定				
第9回	予算実績差異分析				
第10回	差額原価収益分析				
第11回	設備投資の意思決定				
第12回	企業環境の激変に対応する新しい原価計算				
第13回	ライフサイクル・コストニング				
第14回	原価企画・原価維持・原価改善				
第15回	品質原価計算・活動基準原価計算				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	前回までの講義内容を確認の上、毎回講義に臨むこと。(1時間程度) 本学図書館では、日商簿記検定関係図書が充実しており、積極的に活用してください。				
履修条件 受講のルール	日商簿記2級レベルの知識があることを前提に授業を進めます。 適宜資料を配付しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配付しませんので、友人同士でコピーして下さい。				
テキスト	プリント等を配付し、必要に応じ提示する。				
参考文献・資料	「みんなが欲しかった！簿記の教科書 日商1級工簿・原計 1,2,3(第2版)」鈴木隆文 TAC 出版(2019)				
成績評価の方法	定期試験および外部関係試験結果を含め、総合考慮する ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。				

	・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	授業終了後
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	長年にわたり簿記・会計資格取得のための指導・助言を行っています。近年、簿記検定試験は内容を大幅にリニューアルし、激変する企業会計実務へ対応するための高度な実務的専門能力を求めています。検定問題を通して、現代企業の日々の経営活動・最新の経理会計を紹介していきたいと思います。
学生へのメッセージ	本講義では、多くの日商簿記検定問題を活用して進めていきます。履修した学生諸氏には、積極的に簿記検定を受験し、資格取得を目指してほしいと思います。